

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 3年 2月 15日

事業所名 ふれんず広田町

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		限られた広さの中でスペースを確保しております。	運動あそび時には子どもたちがケガをしないように、スペースの確保等を行い、安全面に配慮します。また、必要に応じてクールダウンできる環境を整えます。
	2	職員の配置数は適切である	○		児童と職員が2:1の比率になるよう配置しております。	従来どおり、利用人数、送迎に応じて必要な職員数を配置します。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○		児童の状況に合わせて環境の整備を行っております。	必要に応じて対応してまいります。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		打ち合わせや終礼等で職員の参画を行っております。	従来どおり対応してまいります。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			アンケートの結果を受けて、業務の改善に努めております。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○			公開しております。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		現在、実施の予定はしていません。
適切な支援の提供	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		今年度はコロナの影響により研修機会が少なかった。	スタッフが研修に参加しやすい環境を目指します。
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○		アセスメントを行い、職員の意見も取り入れている。	適切なアセスメントができるように、職員間で情報を共有してまいります。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している		○		アセスメントツールの使用はしておりません。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○			スタッフミーティングの機会を増やし、全職員が意見を出せる機会を作ります。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		コロナ禍のため室内での活動を立案し固定化しないよう努めている。	活動プログラムを工夫し、固定化されないように努めます。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○		それぞれの時間に応じて、設定している。	従来通りきめ細やかに対応して参ります。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○			従来通り対応してまいります。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		支援開始前に打ち合わせを行い、状況に合わせて役割を分担している。	従来通り対応してまいります。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		終礼にて情報の共有を行っている。	従来通り対応してまいります。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○			継続して実施してまいります。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○		半年ごとにアセスメント、面談を行い見直しを行っている。	従来通り対応してまいります。
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	○			従来通り対応してまいります。	

関係機関 や保護者 との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		児童発達責任者が会議に出席している。	従来どおり対応してまいります。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○			年間計画や行事予定等の交換は行っておりませんが、適宜連絡を取っております。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		○		現在、対象者がいないため、検討しておりません。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている		○		今後も必要に応じ、連携をとってまいります。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している		○		今後、必要に応じて連携をとってまいります。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている		○		研修機会があれば積極的に参加し、必要に応じて専門機関と連携してまいります。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		○		コロナ禍が治まり外出する機会が増えた際には交流する機会を設けます。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している		○		参加しておりません。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		送迎時や電話等で情報共有を行っている。	従来どおり対応してまいります。
保護者への 説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている		○		今後は外部の専門機関と連携し、保護者向けの講演会等が開催できるように検討します。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○			従来どおり対応してまいります。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○			従来どおり対応してまいります。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○	コロナ禍の為、保護者会の実施は無かった。	定期的開催し、多くの方に参加していただけるよう企画してまいります。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○			従来どおり対応してまいります。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		行事予定を毎月発行し、ホームページ、ツイッターで発信している。	従来どおり対応してまいります。
	35	個人情報に十分注意している	○			従来どおり対応してまいります。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○			従来どおり対応してまいります。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○		事業所運営の理解を深めてもらうためにも、交流の機会を検討していきます。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している		○		必要に応じてマニュアルの見直し、検討をしております。職員や保護者への周知も継続して行っております。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○			安全に避難できるよう定期的に訓練を行い、非常時への備えに努めてまいります。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○			従来どおり対応しております。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している		○		必要に応じて適宜対応しております。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○			必要に応じて適宜対応しております。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○			継続して行い、今後も情報共有、対策をとっております。